

2. デマンド型乗合交通とは

資料1中の新たな交通システムとして想定しているもの＝デマンド型乗合交通

① デマンド型乗合交通とは

「デマンド」・・・要求、要請、請求、需要、これらに対して出来るだけ応えよう
とすること。

「乗合」・・・一定の運賃で、不特定の人が乗り合うこと。

「デマンド型乗合交通」

- ・需要に応じて柔軟に運行する利用者主導型の交通
- ・定時・定路線のバス運行に対して、電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一つの形態。利用者の需要に応じて時間と路線を柔軟に対応する事が可能なことから、中山間地域や集落散在地域、人口低密度地域などの需要において有効。

因みに、デマンドタクシーとは、交通手段に不便を来している方を自宅や指定場所から目的地まで、途中乗り合う人を乗せながら、それぞれの行き先に送迎するタクシーによるサービス。乗りたい場所は、例えば、事前に電話やファクシミリで予約をして利用。



■自動車の定員内で、同じ予約時間帯の範囲で、予約した者を拾ったりおろしたりして、それを、それぞれの目的地まで移動。

■形態はいろいろある。例

- ①時間固定・路線固定型
- ②時間固定・路線非固定型
- ③時間非固定・路線非固定型
(フルデマンド)

■ドアトウドアに近くなる。

■希望移動時刻に沿いやすい。

■ただし、導入の際には、路線バスや一般のタクシー、既定の同種手段との競合などに対する考慮が必要。

■形態、運営手法はいろいろある、実情に応じた、簡素で事業者の工夫で成立する手法の考慮が必要。

②いろいろな需要と対応手段

	需要の程度	運行、地域例	手 段	特徴	本市の現行例
1	利用者数も多いなど一定確保され、移動希望時刻も定型化できる程度の需要	市街地内運行 当該地と遠方を結ぶ運行 集落散在地域、山間部を巡回し、市街地等とを結ぶ運行	定時定路線バス 定時定路線の循環バスや往復等 シャトルバス	その時間、その場所に行けば乗れる ドアトゥドアとはいかない。全ての人が乗り場に近いということはない。	市内路線バス 高速バス
2	利用者が広範囲に散在し、少数ないし中数、あるいは定型化できない、かつ移動希望時刻も散在している程度の需要	集落散在地域内 人口低密度地域内 上記地域内と市街地等主要地点を結ぶ運行	デマンド型乗合 タクシーやバス	ドアトゥドア 時間柔軟 予約必要	なし
			タクシー等小規模自動車による 定時・定路線・定停留所型の交通	路線バス等とタクシーの中間的ドア トゥドア 時間は限定 予約不要	なし
3	利用目的、利用対象者の一定限定、少数利用者 又は2の場合で極めて少数の需要		タクシー券配布によるタクシー 利用 利用後に補助申請によるタクシー 利用など	ドアトゥドア 登録や券購入の手続き必要	
4	利用目的が単体、極めて限定 利用者も一定確保される程度の需要	居住地域と遠方の学校とを結ぶ運行 学区内地域を巡回する運行	定時定路線のスクールバスなどの交通 但し学校行事など通学事情の細かな変化に対応	時間は限定。 その目的の範囲で自由変更可能。	スクールバス
5	極めて個々の事情、単発、特段の行き先、特段の移動希望時刻等の需要	利用者の需要にほぼ完全に応える運行	タクシー	ドアトゥドア 時間自由	タクシー